

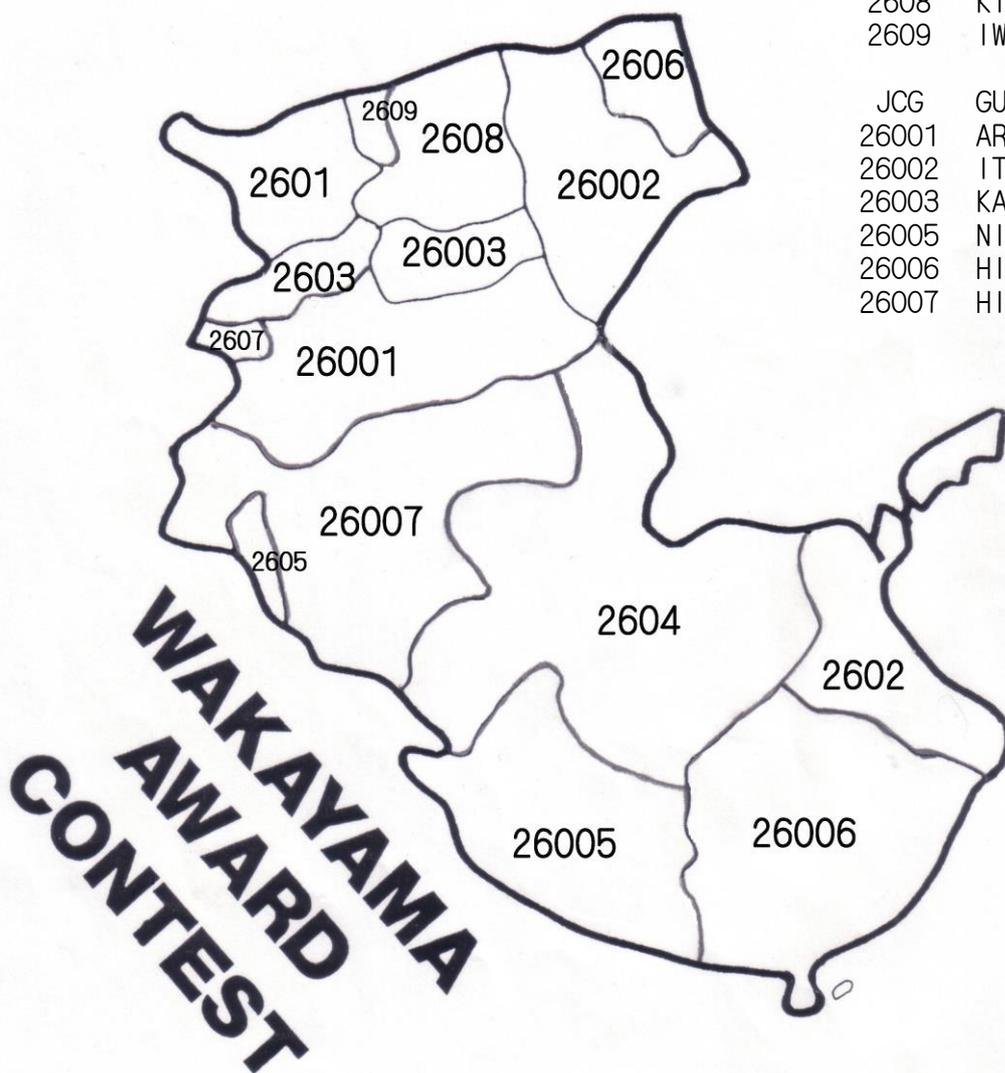


和歌山県支部報

2013. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA
2608	KINOKAWA
2609	IWADE

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部報告・ハムの集いのご案内

J A R L 和歌山県支部

日 時 平成25年2月1日(日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 御坊商工会議 大ホール

御坊市園 350-28



平成25年度JARL和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成23年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成24年度中間報告・同決算報告
- (6) 平成25年度行事計画・同予算説明
- (7) 監査指導委員長現状報告
- (8) 和歌山アワード発行状況報告
- (9) 非常通信訓練結果報告
- (10) 意見交換 その他
- (11) 閉会の辞

ごあいさつ

一般社団法人・日本アマチュア無線連盟和歌山県支部
支部長 JA3EQC 廣井 五十二

日頃は、支部の活動に何かとご協力とご参加をいただき、ありがとうございます。連盟も、一般社団法人となり新しい組織での活動が始まっております。従来の会員全員での総会に代わり選出された社員での総会に形は変わりましたが、趣味の団体として、より良き方向を目指していることには変わりございません。

さて、和歌山県支部でございますが、昨年、田辺、串本、新宮と一連の D-STAR レピーター局の開局に伴い、全国でも恵まれた D-STAR の整備された環境となり、より広く県内でのデジタルモードでの通信が可能となりました。また、万が一の災害時には、通信の中核になってくれるものと思っております。準備としての防災活動でございますが、紀の川市、高野町の協定に続いて、和歌山北警察署とも情報提供ボランティアとしての覚書を交わしました。我々は災害に対して自助努力とか地域活動が必要な地域に住んでおります。しかしながら、我々はアマチュアであり、決して災害救助のプロではありませんのでボランティアの立場を理解され、ご自分の安全を第一にその上で余力があれば、それらの活動に参加いただけることは社会の一員としてありがたいことだと存じます。

いつも申し上げていることですが、我々は同じ趣味を持つものが、それをより豊かに楽しむための団体というのが原点でございます。昨今は多くの方が定年などを機会にカムバックされ、昔に比べアマチュア無線の楽しみ方の選択肢も増えたと思いますが、熱心に活動されております。他面、技術講習などで若い方の参加もあり和歌山県支部では、会員の減少に歯止めがかかった状態になってまいりました。今後ともより魅力のある団体になれるよう”仲間”であるみなさまと共に考え、行動していきたいと思っております。

HF ハイバンドは恐らく今年いっぱい楽しめましょう。HF から UV まで、みなさまのご活躍を願ってご挨拶いたします。

J A R L 和歌山県支部「ハムの集い・支部大会」に寄せて

J A R L 関西地方本部長（副会長） J A 3 H X J 長谷川 了彦

一昨年11月1日、JARLは「一般社団法人日本アマチュア無線連盟」として新しい組織としてスタートしましたが、皆さまの期待に応える動きになっているのでしょうか？

昨年この誌面をお借りし強く訴えたことは、新組織のリーダーとともに山積する課題を一つずつ解決してゆくこと、情報公開を積極的に進め組織としてのJARLがどう進もうとしているのかを会員に示す決意をすることでした。

その中で私に与えられた最大のテーマは財政の健全化を実現することです。これは財政・機構検討ワーキンググループをお預かりする者として、公約でもある平成26年度までにJARL会計の収支バランスを導くことがいよいよ現実味を帯び、理事者は相当な決意をもってこれらを断行しなければなりません。

さらに推し進めなければならないことは、事務局の合理化と電子化の推進です。とくに電子化の実行は組織の性質上避けることはできません。

これらは、会員が自らの意思で会員としての義務を履行し、同時に権利を享受できるシステムを構築し組織としての意識改革につながるものと期待されています。

ともすれば会費に見合う恩恵について議論されることが多かった過去の意識から組織の未来を見極めることも大切ではないかと考えます。

すべては財政上の課題から求められる対応ではありますが、電子化の推進は選挙の投票も従来の郵便をつかった方法からインターネットを利用した電子投票を採用することが可能です。

また、Q S L 転送の一部電子化についても検討を加えることも必要な環境を迎えています。

一番身近な課題の会費前納会員の扱いについては、「ライフメンバー」として、その権利を最大限確保する道を選択しました。これは会費前納者のこれまでの功労に報いることを最大限配慮した結果理事会が導いた結論です。

会員減少が問題となっていますが、その減少数が一番少ないのが関西です。これは、恒例となった各々の支部活動を始め、「関西アマチュア無線フェスティバル」に象徴されるアマチュアの楽しみ方を見出しこれらを実践し、青少年の育成に力を注いでいる姿が背景にあります。その源はこれらを支える支部皆さまの努力に他なりません。

所詮遊びの集団といわれるJARLですが、その改革を実行するには遊びの真髄を極めた知恵と意気込みにかかっているようです。

今期こそ会員の声がかつて以上が届く組織を作り、社会に通用するアマチュア無線の組織作りを一緒に進めようではありませんか。

ご 挨拶

日本アマチュア無線連盟

社員 JH3EZV 勝本 健

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様方には益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。

一般社団法人・日本アマチュア無線連盟が発足して初めての定時社員総会が、昨年6月24日にベルサール神田(東京)で開催されました。ここで審議された諸議案は、平成23年度の事業報告・決算報告、平成24年度の事業計画・収支予算は勿論のこと、役員選任・役員報酬・名誉会員推挙の件などでした。
中でも役員選任の件は新しい定款に則った社員総会の決議による選任でした。

その進め方は役員候補者一人ずつの経歴紹介(自己申告)と支部活動に対する所信を述べて貰って一人ずつ採決する方法でした。
その結果は、大部分の役員は選任されましたが、全国理事候補者1名と地方本部理事候補者3名が選任されませんでした。

その後の理事会で全国理事候補者は欠員の俛で、地方本部理事候補者は他の理事が代行することで決着を試みたが収まらず、当該地方本部の支部長の意見を聞いて会長の裁量権で理事でない地方本部長を任命することとなりました。

さて、会員にとって最も重要な課題は『会費前納関係の見直し』です。
既に、財政・機構検討ワーキンググループで議論・検討されて、その詳細な内容はJARL NEWSの2013冬号(39~41ページ)に掲載されているため既にお読み頂いていると思うが、この制度を破綻させずに立て直す策を次回の社員総会(6月16日)へ上程される予定です。

具体的な議案は次のJARL NEWS春号(4月1日発行予定)で説明されることとであり、これが最後の機会と捉えて会員(社員)みんなで知恵を出し合って十分な審議を行ないたい。

最後になりましたが、日頃から皆様方の温かいご理解とご協力に感謝すると共に、今後益々のご活躍をお祈りします。

ごあいさつ

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

社員 JF3NIM 田中将夫

昨年6月24日に第1回社員総会が開催され新生JARLが始動しました、総会において4名の理事候補が信任されなかった事はすでにご存じの事と思いますが、この様な事態を想定しなかったのか規定もありません、第8回理事会で対応策が示されましたが理解できないのは「会費前納者」「終身会員」今回は「ライフメンバー」呼称も変わるこの制度です、JARL NEWS 冬号によりますと「平成3年バブル崩壊低金利にいり…」とあります、この20年何をして来たのか、目に見える改革が行われたのか疑問に思います、今回6月16日開催の第2回社員総会に改革案が上程されるようですが、会員各氏の意見を十分反映出来る様な環境を作る事も大切ではないでしょうか、今回の新社団法は我々趣味の会を対象としたものでありませんが現状に在った制度造りが必要です。

アマチュアコードに「アマチュアは進歩的である」とあります、インターネット時代になりこれを使った通信にチャレンジは喜ばしいことです、今のJARLの運営をみる限りそうでしょうか旧態依然としか思えません 1952年戦後の初の総会が開催されていますがこの時の情熱は何所に行ったのでしょうか、皆様が無線を始めた頃を思い出してみませんか、アマチュア無線の活性化を叫ばれています但し沢山の方々のON AIRをするのが活性化の初めではないかと思えます。

新生JARLが始動し本来の趣味であるアマチュア無線を楽しむ会になる事を願うものです。

平成 24 年度監査指導報告

JARL 和歌山県支部 監査指導委員長 JA3DFO/小林嘉弘

みんなで不法局を追い出そう!



JARL 和歌山県支部の皆様には日頃から当監査指導にご理解とご協力をいただき有り難う御座います。

平成 24 年度の監査指導報告の一部をお知らせいたします。相変わらずバンドプランの守れない局、アマチュア業務外の連絡に周波数を使う通信事項違反、特に多いコールサインの送出不の無い局が例年の様に多発しています。

総合通信局、JARL が挙ってコールサインの送出行なうように呼びかけています。

違反局撲滅の手段はアマチュアバンド内ではコールサインの送出手によって合法局と違反局との差別化を促すものです。アマチュアバンドを守るのはアマチュア局自信にある事は言うまでもありません。

平成 24 年度監査指導報告の一部です。

区分	144MHz	430MHz	計
アマチュアバンドプランを守らない	19	12	31
通信事項	21	20	41
呼出符号の不送出不	134	135	269

限られた時間内でのアマチュアバンドの VU 帯のワッチですがハム免許を有しない局または既に局免を失効してしまっても悠然と ONAIR されている”アンカバー”と見受けられます。業務特にダンパーにての連絡用にハムバンドを使っているのが見受けられます。総務省総合通信局の資料によりますと我が国の電波利用は増加の傾向が現れた 1985 年の無線局総数 381 万局から 2012 年 3 月末で実に 35 倍の 1 億 3,489 万局に達しています。電波の利用が高度化し新たな分野に電波利用が推進されています。

その中であってアマチュア無線のより合法的な運用が肝要となってきました。

総務省に寄せられる無線局に対する混信・妨害に関する申告の大半はアマチュア無線に関するものである事を認識しなければなりません

コールサインは世界で唯 1 人あなただけに使用が認められた ID です
もっと大切に、プライドをもって使用しましょう。

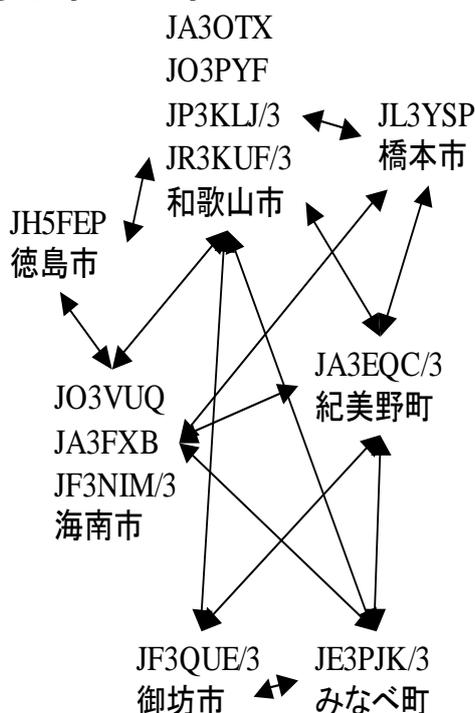
JARL 和歌山県支部監査指導委員会

JARL和歌山県支部非常通信訓練報告

実施日時：平成24年9月9日（日）13：00～16：00

目的：地震・台風などの非常災害時、非常通信に協力可能なアマチュア無線局によって通報、伝達の訓練を行い、非常時の円滑な通信を確保するとともに、伝播調査を実施する。またアマチュア無線局の非常通信に対する意識高揚を図る。

参加局：12局



144	JO3VUQ	松岡 様	海南市下津町
	JA30TX	角谷 様	和歌山市西庄
	JP3KLJ/3	上田 様	和歌山市木本
	JE3PJK/3	大崎 様	日高郡みなべ町
	JF3NIM/3	田中 様	海南市長峰山山頂
	JA3EQC/3	廣井 様	海草郡紀美野町若者広場
	JF3QUE/3	丸山 様	御坊市日高川河口
	JA3FXB	岡本 様	海南市大野中
	JO3PYF	寺前 様	和歌山市西庄
	JL3YSP	土井 様	橋本市
	JH5FEP		徳島市
	JR3KUF/3	池上	和歌山市加太
430	JO3VUQ	松岡 様	海南市下津町
	JA3FXB	岡本 様	海南市大野中
	JA30TX	角谷 様	和歌山市西庄
	JR3KUF/3	池上	和歌山市加太

24年度のJARL和歌山県支部の非常通信訓練に、ご参加ありがとうございました。今年度はD-STARの田辺、串本、新宮レピータ局が運開し非常通信訓練の中でデジタル通信によるレピータ通信を実施しました。残念ながらD-STAR機器を持っていませんのでレポートできないのですが、今年に変更申請をして参加しようと思います。

平成23年3月11日の東北地方の震災と津波の衝撃は今も日本のみならず世界に影響を与えていますし同じ平成23年9月の台風12号では紀南地方に多大な被害を与え55人の死者・行方不明者を出しましたが、迫り来る南海地震の津波高の見直しが進められており3月頃には県から浸水域が出てくるものと思われます。浸水域に居られる方は普段から準備と心構えを必要としますが、浸水域から外れていても、十分な備えを怠らないようお願いします。

今年度はD-STARでお会い出来る事を楽しみにしております。あ

JR3KUF 池上和彦

平成23年度支部費決算報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥ 116,617	
< 収入の部 >		
支 部 費	¥ 300,000	
賞 典 収 入	¥ 4,110	和歌山アワード
雑 収		
受 取 利 息	¥ 37	
計	¥ 304,147	
< 支出の部 >		
支 部 大 会 費		
会 議 費	¥ 37,480	運営委員会・クラブ代表者会議・部屋使用料等
催 物 費	¥ 138,450	ハムの集い会場費・関西ハム・記念局運用・テクニカル講座ほか
渉 外 費		
通 信 費	¥ 390	切手代
交 通 費	¥ 1,300	支部運営委員会
消 耗 品 費		
支 部 発 行 費	¥ 30,114	コピー機トナー代・コピー用紙等
事 務 印 刷 費		
コ ン テ ス ト 費		
賞 典 費		
非 常 通 信 費		
雑 費	¥ 7,700	電波利用料・クラブ局申請料・8J3XVI 機器返却
計	¥ 215,434	
次期繰越高	¥ 205,330	

平成24年度支部費中間報告

平成24年4月1日～平成24年12月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥ 205,330	
< 収入の部 >	0	
支 部 費	¥ 150,000	
賞 典 収 入		
雑 収		
受 取 利 息	¥ 23	
計	¥ 150,023	
< 支出の部 >		
支 部 大 会 費		
会 議 費	¥ 16,260	運営委員会・クラブ代表者会議・部屋使用料等
催 物 費	¥ 20,350	ハムの集い会場費・関西ハム・記念局運用・テクニカル講座ほか
渉 外 費		
通 信 費		
交 通 費	¥ 14,220	支部役員会・新宮レピーター開催セミナー
消 耗 品 費		
支 部 発 行 費		
事 務 印 刷 費		
コ ン テ ス ト 費	¥ 32,755	コンテスト副賞費と発送費
賞 典 費		
非 常 通 信 費		
監 査 指 導 費		
雑 費	¥ 3,390	JH3YCD変更認定料
計	¥ 86,975	
残 高	¥ 268,378	

平成23年度・支部行事報告

平成23年4月1日～平成24年2月5日

日付	行 事 項 目
平成23年 4月3日	第23回和歌山コンテスト 中止
5月15日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
5月29日	第52回通常総会（池田市）
5月21・22日	8N3XVI 和歌山県内運用（紀ノ川市・橋本市）
7月10日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月16～17日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月24日	第3回オール和歌山移動デー
8月21日	CW・DXミーティング
8月29日	紀ノ川市総合防災訓練
9月5日	和歌山県総合防災訓練 海南市 中止
9月11日	第14回和歌山県非常通信訓練
10月16日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月6日	テクニカル講座 中止
11月27日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月10日	関西年末ハムの集い
平成24年 1月14日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用
2月5日	和歌山県支部ハムの集い
3月26日	支部運営委員会・クラブ代表者会議

平成24年度支部行事中間報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

日付	行 事 項 目
平成24年 4月1日	第24回和歌山コンテスト
6月10日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
6月24日	第1回定時社員総会（東京）
6月21日～7月8日	関ハム記念局 和歌山県内運用 8J3XVII
7月8日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月14・15日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月29日	第4回オール和歌山移動デー
8月19日	CW・DXミーティング
8月26日	紀ノ川市総合防災訓練
9月9日	第16回和歌山県非常通信訓練
10月14日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月4日	テクニカル講座
11月25日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月8日	関西年末ハムの集い
平成25年 1月19日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用
2月3日	和歌山県支部ハムの集い
3月31日	支部運営委員会・クラブ代表者会議

平成25年度支部予算（案）

平成25年1月15日

科 目	25年度予算（案）	24年度予算	前年度比
< 収入の部 >			
支 部 費	¥ 300,000	¥ 300,000	
賞 典 収 入	¥ 2,000	¥ 2,000	
雑 収			
受 取 利 息			
計	¥ 300,200	¥ 300,200	
< 支出の部 >			
支 部 大 会 費			
会 議 費	¥ 30,000	¥ 30,000	
催 物 費	¥ 140,000	¥ 140,000	
渉 外 費			
通 信 費	¥ 6,000	¥ 6,000	
交 通 費	¥ 30,000	¥ 30,000	
消 耗 品 費			
支 部 発 行 費	¥ 32,000	¥ 32,000	
事 務 印 刷 費			
コ ン テ ス ト 費	¥ 40,000	¥ 40,000	
賞 典 費			
非 常 通 信 費	¥ 20,000	¥ 20,000	
監 査 指 導 費			
雑 費	¥ 4,000	¥ 4,000	
計	¥ 302,000	¥ 302,000	

平成25年度支部行事計画（案）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

日 付	行 事 項 目
平成25年 4月7日	第25回和歌山コンテスト
6月2日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
6月16日	第1回定時社員総会（東京）
6月～7月	関ハム記念局 和歌山県内運用（予定）
6月30日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月13・14日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月28日	第5回オール和歌山移動デー
8月18日	CW・DXミーティング
8月25日	紀ノ川市総合防災訓練
9月8日	第17回和歌山県非常通信訓練
10月20日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月3日	テクニカル講座
11月24日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月8日	関西年末ハムの集い
平成26年 1月14日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用 日程は未決定
2月2日	和歌山県支部ハムの集い
3月30日	支部運営委員会・クラブ代表者会議

第24回和歌山コンテスト結果

県内部門

電信の部

3.5MHz

① JG3DOR/3 2220

7MHz

① JE1RZR/3 8648

2 JA3VUI 7990

3 JR3EQG 4826

4 JI3DNN/3 3774

14MHz

① JA3PXH 1

21MHz

① JI3OQO/3 20

50MHz

① JK3HLP 24

2 JA3PXH 1

144MHz

① JI3OQO/3 9

2 JG3DOR/3 4

HFマルチ

① JK3HLP 39804

2 JG3CQJ 30510

3 JM3QML 1815

VUマルチ

① JI3DNN/3 77

電信・電話の部

3.5MHz

① JA3TLL/3 5104

2 JA3PZM 1274

7MHz

① JA3CFH 8640

2 JI3BKF 3648

3 JK3WOJ 2263

4 JE3CSO/3 1800

5 JA3MIB/3 143

14MHz

① JJ3SHR 12

2 JN3DMJ 1

21MHz

① JG3SKK 78

HFマルチ

① JS3CTQ/3 50760

② JA3BYR 43121

3 JF3NZA 26378

4 JA3EQC 6392

5 JA3FRI 4815

6 JF3QUE 4524

7 JA3OTX 25

50MHz

① JA3EQC 9

144MHz

① JE3CSO/3 845

② JF3NIM/3 700

3 JG3SKK 636

4 JP3KLJ/3 507

5 JS3SRA 350

6 JM3ROY/3 342

7 JA3HBK 300

8 JO3WV/3 297

9 JH3UPQ 78

430MHz

① JK3ISC/3 810

2 JH3SKC/3 312

3 JP3KPJ/3 175

1200MHz

① JO3VUQ/3 54

VUマルチ

① JS3CTQ/3 858

2 JL3FPP/3 651

3 JN3DMJ 580

4 JA3FRI 266

5 JA3OTX 30

県内登録クラブの部

① 和歌山葵クラブ 6401

2 南海クラブ 4815

3 はまゆうアマ無線クラブ 4524

4 和歌山2mSSB愛好会 1557

県外部門

電信の部

1.9MHz

① JA4GWE 20

② JA2CUS 20

3 JAØIND/1 12

4 JK1LUY 12

5 JR2AIZ 12

3.5MHz

① JA9AJU 30

2 JJ3TTH 25

3 JA1COP 24

4 JA3QG 12

7MHz

① JA5CBU 91

② JG1FMA 91

3 JE8KGH/7 66

4 JA1OZT 66

5 7L3WEV 66

6 JAØDVE 66

7 JA2ANR 60

8 JI1UDD 60

9 JF2HTO 60

10 JH7OUW 60

11 JH4EYD 54

12 JL3TQA 54

13 JF1CQH 50

14 JA1LOG 50

15 JN1BBO 45

16 JE4GJV 45

17 JO4CTB 40

18 JA2NGN 40

19 JA4GNK 40

20	JE6CIY/4	35	6	JR2FJX	352	7MHz		28MHz			
21	JA1KI	32	7	JA3RSJ	345	①	JG1TVK	190	①	JP3BHC	8
22	JO4BOW	30	8	JR3NDM	322	②	JR1CJD	180	HFマルチ		
23	JQ2IBS	28	9	JE1LDU	176	③	JR2MIO/2	160	①	JR2AWS	736
24	JA1COH	28	10	JA6FOF/6	170	4	JK2BAP	153	②	JA1CP	486
25	JJ5EQW	24	11	JA1DXW	140	5	JJ1XQU	144	③	JK3HFN	315
26	JM2LSJ	24	12	JH1NXU	126	6	JG1IEB/1	88	4	JK2VOC	266
27	JG1VRR	24	13	JH4JUK	104	7	JR6HMJ/1	80	5	JH3CGT	224
28	7L3EBJ	20	14	JA2QVP	98	8	JI1IIF	77	6	JH1FNU	209
29	JA1POS	20	15	JO1EEQ	91	9	JH2PSS	70	7	JR4PDP	204
30	JJ3CDK	18	16	JK1SDQ	90	10	JA4NQD	70	8	JA3WFQ	121
31	JA0GZ	18	17	JQ6JWL	80	11	JA6DH	70	9	JA1UZG	112
32	JK1DTK	16	18	JA5INF/1	70	12	JR1QBA	63	10	JK1NAF	108
33	JJ0VNN	15	19	JP1HUJ	56	13	JA3BPX	56	11	JR5PPN	88
34	JH1MTR/4	15	20	JA1HMK	56	14	JR5DPV	56	12	JA1VWK	81
35	JE1HTV	15	21	JA3JND/3	54	15	JA4AJB	48	13	JA6FXL	70
36	JE2WLD	15	22	JN3ANO	54	16	JA3TU	42	14	JM1AHX	56
37	JA0QD/1	12	23	JA7AEM	45	17	JA1LPQ	42	50MHz		
38	JH6TTD	8	24	JO1SIM	42	18	JH7VUD	42	①	JG3WDN	9
39	JA4AVO	8	25	JA8AJE	36	19	JK1BII	36	2	JA3EVA	6
40	JG1UKW	6	26	JA0CCL	35	20	JF1ABZ	36	144MHz		
41	JR0BUL	6	27	7N4QCQ	30	21	JA2PEI	35	①	JH3BYX	45
42	JE7ENK/7	4	50MHz		22	7N2XHH	30	②	JF3RRA	40	
43	JL7FBV/1	1	①	JR3NDM	6	23	JA1IQK	20	3	JO3TAP/3	24
44	JH8CLC/7	1	2	JA3RAZ	4	24	JE1BAB	16	4	JA3YO	20
45	JR2KPO	1	144MHz		25	JE1GZB	16	5	JL4SXA/4	16	
14MHz			①	JA5CBU	4	26	JA1JUR	12	6	JG2KFI/2	15
①	JS1IFK	12	VUマルチ		27	JA9BOH	12	7	JM3GVH/3	4	
2	JA2BHG	9	①	JA3RSJ	20	28	JE1GYM	9	430MHz		
3	JH7VOT	4	2	JA3JM	16	29	JR1XNR	9	①	JH5DAH/5	35
4	JA7ERJ	1			30	JG1GCO	9	VUマルチ			
5	JH7UJI/7	1			31	JM1EKM	4	①	JF20HQ/3	99	
21MHz			電話・電信の部		32	JA1WSE/1	4	2	JA3AA	99	
①	JG2KFI/2	20	3.5MHz		33	JA3PYH/3	4	3	JL3WXS	20	
28MHz			①	JH1CHU	70	34	JL4CUN	4	4	JA3AER	9
①	JH3BJG	20	②	JR2NTC	63	35	JA1CFW	1	社団の部		
2	JF3VAX	2	3	JO3QVT	42	36	JF2TGF	1	①	JA3YAA/3	1470
HFマルチ			4	JA3XYM	25	37	JG2QUM	1	2	JH1YAK	126
①	JF3BFS	805	5	JL1UDM	20	14MHz		SWLの部			
②	JA5NSR	651	6	JJ4JGD	20	①	JJ70ED/7	9	①	JA1-22825	532
③	JA3AA	609	7	JG3DIX	4	2	JH6QIL	9	2	JA2VSU/3	221
4	JA3JM	513	8	JL4WYY	4	3	JL8HLH	1	3	JA4-37294	216
5	JL1SAM	400	9	JR30ET/1	4	21MHz		4	JA2-9315	150	
			10	7L1BWT	4	①	JR3AAZ	40	5	JA3-6644	15
					2	JJ3JHP	24				
					3	JF2CTY/2	1				

丸付き数字は入賞者

同得点は最終交信が早い方を上位です

第 25 回和歌山コンテスト

日時 2013(H25)4月7日(日)09:00~21:00JST

参加資格 日本国内のアマチュア無線局および SWL

部門 N=和歌山県内の部 G=和歌山県外の部 S=SWL の部

種目・コード・使用バンド 下記一覧表のとおり

	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
★個人局の部				
1.9MHz シングルバンド	NC1.9	—————	GC1.9	—————
3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	GC3.5	GX3.5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF (1.9~28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・U (50~1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団の部				
マルチバンド電信・電話	—————	NXMA	—————	GXMA
★SWL の部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分 JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適応。

1.9/1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。

呼出 ○県内局 (電信) CQ WK TEST IN DE J*3***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県内局 J*3***

○県外局 (電信) CQ WK TEST DE J*7***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県外局 J*7***

交信の相手局 県内局=国内全域 県外局=和歌山県内局のみ

コンテストナンバー 県内局 RS(T)+市・郡ナンバー

県外局 RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点 1交信を1点とする。SWL は和歌山県内のみを1点とする。ただし

同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプライアー ○県内局=各バンドごとに都府県支庁(和歌山県を除く)および和歌山県内の市郡を1マルチとする。

○県外局=各バンドごとに和歌山県内の市郡を1マルチとする。

総得点 得点合計 x マルチ合計

提出書類 JARL コンテストログおよびサマリー、またはそれと同一と見なし得る書式とする。

締切 2013(H25)4月30日(月)消印有効

提出先 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部コンテスト係

E-mail : wk-test25@goo.jp

問合せ 上記と同じ

賞状 各部門、種目別にエントリー数が5局以内は1位のみ、6~10局は2位、11局以上は3位まで賞状を発行する。

禁止・その他 ○JARL コンテスト規約に準じる。

○ エントリー 個人局は2種目以内、社団局は1種目以内とする。

ただし2種目とはHF帯(1.9~28MHz)とV・UHF帯(50~1200MHz)で各1種目。

同一個人が個人局や社団局など2以上のコールサインを、使用してのログ提出は認めない。

○ 和歌山県内登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録クラブ名を記入すること。

○ コンテスト結果が必要な方は、長形3号の封筒に90円切手を貼ったSASEを同封して下さい。

○ 移動局に対して、移動した事実を証明できるもの(宿泊先の領収書、当該地域での買い物の領収書、移動地で撮影した日付入の写真など)の提出を求め場合があります。また、サマリーで移動先の記載は単に市郡名の記載ではなく、**市**山、山頂付近などの具体的地域の記載をお願いします。

○ 副賞の「和歌山県特産品」はエントリー数、得点などにより、県内の部・県外の部ともに入賞10個程度+特別賞1個程度。

○ <電子ログで提出される場合のお願い>

電子ログはJARL Webに記載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウイルス対策上から原則として添付ファイルは受け付けない。

件名欄は「WK-TEST+貴方のコールサインまたは準員番号」、送信者名は「氏名」または「コールサイン」を正しく名乗り悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないで下さい。

(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないこと、迷惑メールで削除されても責任は持ちません。)

メールで提出時1部門1メールとし2部門を同一メールで送付しないで下さい。

同じメールを何度も送らないで下さい、自動送受信していません。

再提出の場合、件名は コールサイン+「再提出」

問合せは コールサイン+「問合せ」として下さい、

ログ提出者は当ホームページで公表します。

和歌山アワード規程

2010-1-1 現在

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚のQSLカードを取得する。

1. Excellent 賞 30市町村
2. A賞 9市
3. B賞 6郡
4. C賞 20町
5. D賞 1村

特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。

SWL および外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村とQSOしたが、そのQSLカードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該QSOを認めるので申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後はJARL文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは500円。

複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき300円ずつ加算する。

外国局は1賞につき5IRCとする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。

: 申請者が移動して運用した場合は、その移動の範囲は、同一コールエリア内とする。

: 和歌山アワードは平成22年1月1日よりの受付分から、クラス別の新デザインです。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先に同じ (SASEに限る)

電子メールの場合は、jr3eqg@jarl.com または ja3eqc@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

【市】 和歌山市 : 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市 紀の川市 岩出市

【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 有田川町

伊都郡 : 九度山町 かつらぎ町 高野町

海草郡 : 紀美野町

西牟婁郡 : 上富田町 白浜町 すさみ町

東牟婁郡 : 古座川町 太地町 那智勝浦町 串本町

日高郡 : みなべ町 由良町 印南町 日高町 美浜町 日高川町

【村】 東牟婁郡 : 北山村

今後も引き続いて平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行のWACA およびWAGA方式を採用します。即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際してJARLが制定している市・郡番号(JCCおよびJCGナンバー)を使用することは差支えないが、ハムログなどが制定している町・村番号・記号はJARLとして認めていないので、町・村名をその併記入して下さい。

アワード発行状況

平成24年1月1日～12月31日

番号	CALL	申請者	特記
89	J03SET	笠原 利紀	
90	JE7MSU	藤井 達也	7MHz-SSB
91	JI1AFG	吉田 茂	7MHz-SSB
92	JA4FDZ	平田 耕志	7MHz-SSB
93	JJ3MCZ	藤本 輝男	144MHz-SSB
94	JL3PHG	青木 信也	
95	JE1NGI	山西 宏紀	7MHz-CW

Excellent賞

219	JH1QVW	齋木 和男	7 MHz-SSB
220	JA6TNT	仲野 正基	7 MHz-SSB

A賞

177	JF2WJW	寺田 孝志	7 MHz-SSB
178	JA6TNT	仲野 正基	7 MHz-SSB

B賞

C賞			
----	--	--	--

C賞

31	JK3W0J	中村 伸也	7 MHz-SSB
32	JO1WVO	羽田 敏彦	7 MHz-SSB
33	JH4EZE	黒崎 隆	7 MHz-SSB
34	JH1QVW	齋木 和男	7 MHz-SSB

D賞

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧

平成23年6月10日

クラブ名称	登録番号	代表者名	CALL	電話番号	jarl.com
はまゆうアマチュア無線クラブ	26-1-1	古久保恭一	JA3CHT	0738-22-6955	◎
有田アマチュア無線クラブ	26-1-2	岩崎好宏	JA3CF	073-432-1298	◎
和歌山虎伏アマチュア無線クラブ	26-1-3	伊藤嘉計	JA3ESL	-	-
潮岬HAMクラブ	26-1-17	矢野幸弘	JP3BNK	-	-
紀州路田辺HAMクラブ	26-1-18	鈴木博雄	JA3RPY	0739-72-2062	◎
桐蔭高校アマチュア無線クラブ	26-2-2	梅本教正	JA3WRV	073-426-0118	◎
和歌山葵クラブ	26-4-1	廣井五十二	JA3EQC	073-445-2889	◎
紀南HAMクラブ	26-4-4	立花 昇	JR3XKN	0735-21-2321	◎
和歌山クラブ	26-4-6	笹井美秋	JA3BL	073-444-3896	◎
和歌山2mSSB愛好会	26-4-22	田中将夫	JF3NIM	073-482-3202	◎
アマチュア無線南海クラブ	26-4-25	浅井章寛	JA3BFS	073-451-2302	◎

JARL和歌山県支部運営委員名簿

平成22年12月1日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
支部長	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市	073-445-2889	◎
副支部長	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市	073-482-3202	◎
運営委員	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市	073-444-3080	◎
運営委員	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市	073-426-0118	◎
運営委員	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
運営委員 (会計)	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
運営委員	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	紀美野町	073-489-2079	◎
運営委員	JR3UHK	島村 猛	640-0424	紀ノ川市		◎
運営委員	JE3QZV	片山泰英	641-3122	紀の川市	0736-66-0090	◎
運営委員	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市	0737-88-5332	◎
運営委員	JR3DTB	尾山考央	649-0004	湯浅町		◎
運営委員	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市	0738-22-6955	◎
運営委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市	073-444-3896	◎
相談役	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市	073-461-3232	◎

JARL和歌山県監査指導委員

平成22年12月1日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
委員	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市	0739-25-5650	◎
委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市	073-475-4421	◎
委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
委員	JR3KJM	土津田榮一	640-1171	海南市	073-487-0666	◎

<http://www.jarl.com/wakayama/>